

# クリスマス会



十二月に入ると、各階でクリスマスの飾り付けを始めました。二十五日にクリスマス会を開催し、おいしいケーキとカラオケを聴きながら約一時間楽しい時を過ごしました。なんぐん館からは、皆さんにタオルのプレゼントがありました。

(記 安田 佐代)

# ふれあいの発進



## 部門長あいさつ



訪問看護ステーション管理者兼  
居宅介護支援事業所所長 岡原 美幸

なんぐん館（私の場合は訪問看護ステーション）に関わり始めて、四年が過ぎた。思えば、ある患者さんの骨折が、私を医師会に結びつけてくれた。募集に間に合わなかったにも関わらず、訪問看護の経験があるということと履歴書を受けてくれた事務長との出会いも、今では懐かしい。

この四年の間には、様々なことを経験することができた。訪問看護ステーションの管理者として、事務関係の勉強には脳ミソが沸騰してバテてしまったが、貴重な1年だった。

現在、守口所長の代理で居宅介護の所長と、訪問看護の管理者を兼務している。といっても訪問看護は主任・スタッフに殆ど任せ（申し訳ない！）、居宅介護にどっぷりはまっている。少しずつだが、皆の様子・自分になすべき事が見えはじめ、新入職員の育成も、管理者研修の刺激を受けて、ピシバシと情熱を燃やしている今日この頃である。

企業・組織が成長するには、この情熱が大事なのだと思う。一人だけが頑張ってもダメ、職員同士が少しずつの余裕の中で、追いつけない人の援助をしよう。どちらが上でも

下でもなく、余裕のあるときに助けてあげるという職員間の思いやりが、施設を向上させていくのだと思う。そして、管理職はそれを見守りながら必要なときには援助を惜しまず、信頼関係を深めていく努力をしなければならぬ。

最後に、私の作った詩を...

やさしくされて  
人はやさしくなれる  
助けてもらった喜びをかみしめたとき  
初めて感謝することができる  
もっと素直に 子供のよう  
澄んだ瞳でみてごらん  
あなたの周りは  
やさしさでいっぱいでしょう？



## おもちつき



なんぐん館で初めての餅つきを行いました。入所者・利用者がつき、まるめ、その姿を見て涙ぐむ人もおられました。二十組の鏡もちを作り、それぞれのお正月を迎えました。

(記 安田 佐代)